

薬剤師募集

Recruitment of Pharmacists

未来の自分を創造できる。～それがNHO～



独立行政法人
国立病院機構
九州グループ
National Hospital Organization

国立病院機構の理念

私たち国立病院機構は
国民一人ひとりの健康と
我が国の医療の向上のためにたゆまぬ意識改革を行い、
健全な経営のもとに患者の目線に立って
懇切丁寧に医療を提供し、
質の高い臨床研究、教育研修の推進につとめます

CONTENTS

01



国立病院機構とは

02



病院薬剤師について

03



処遇・福利厚生

04



選考について

国立病院機構の概要

国立病院機構とは

医療サービスの向上、地域のニーズに合った医療の提供や、健全・効率的な病院運営の実現に向け取り組んでいる、厚生労働省管轄の独立行政法人。

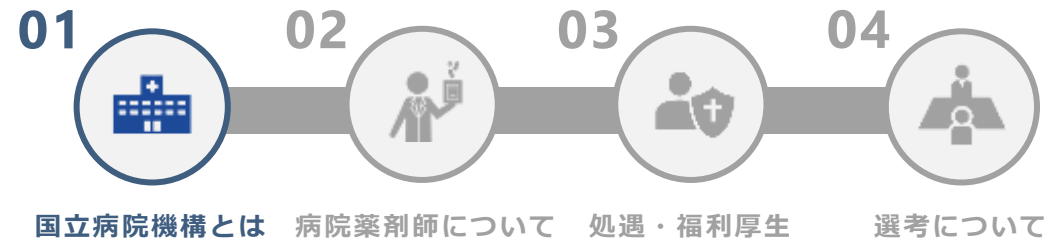
6万人以上の職員で組織を運営

医師：約 6,000 人

看護師：約 42,000 人

その他：約 16,000 人

(令和 8 年 4 月 1 日 時点)



日本最大級の 病院ネットワーク

病院数：140 病院 病床数：48,073 床

(令和 7 年 4 月 1 日 時点)



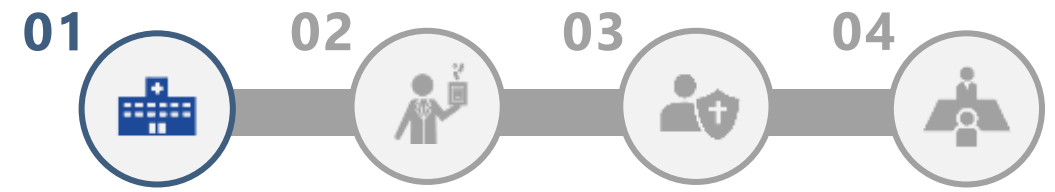
国立病院機構の運営方針

良質な医療を
効率的な運営で



臨床研究事業

140の病院からなるネットワークを構築し、幅広い臨床研究や多施設共同研究を実施するとともに、他の設置主体ではアプローチ困難な分野でも数多くの研究実績を有しています



国立病院機構とは 病院薬剤師について 処遇・福利厚生 選考について

診療事業

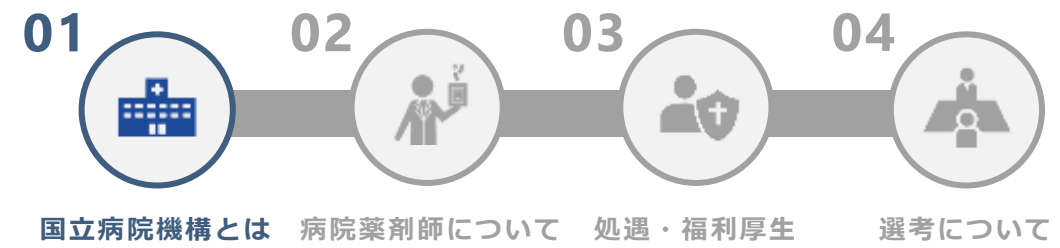
国民の健康を守るため、国を挙げて取り組まなければならない医療に対し、全国的なネットワークを活かした医療提供体制の充実を図っています



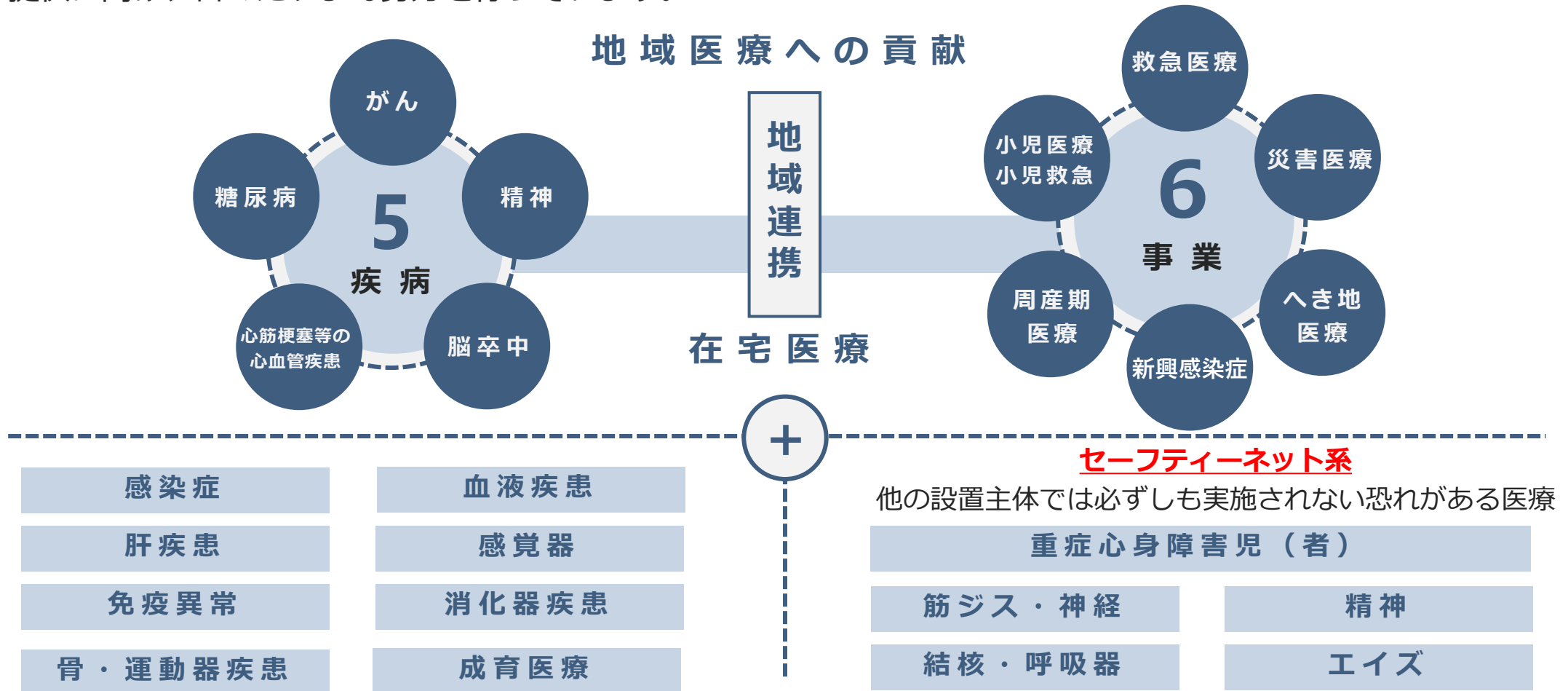
教育研修事業

患者の目線に立った安全で良質な医療を提供できるよう、経験豊かな指導者と、幅広く豊富な症例を活かして次代を担う医療人を育成しています

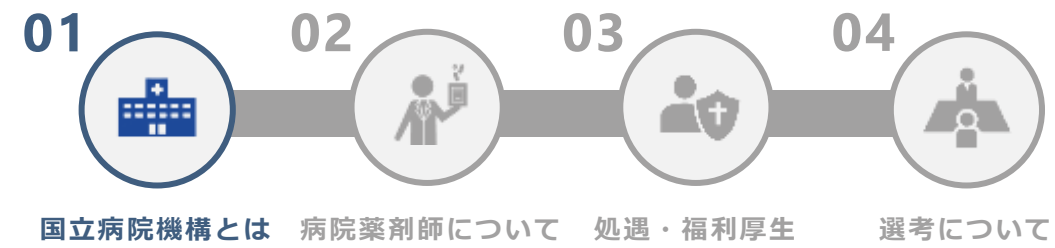
国立病院機構が目指すもの



がん・循環器病などの高度先駆的医療、災害医療や国際的感染症への対応、重症心身障がい・神経筋疾患など民間での対応が困難な医療や国をあげて取り組まなければならない疾病に対して、医療を展開するとともに地域のニーズに応じた医療の提供に向け、日々たゆまぬ努力を行っています。



災害時等の薬剤師の活動



災害医療

新興感染症対策

国立病院機構は国からの要請に基づき積極的に新型コロナウイルス感染症への対応を行っており、令和2年1月にダイヤモンドプリンセス号への医療従事者の派遣、全国に先駆けたワクチン接種への対応など薬剤師も積極的に支援活動に参加しました。



熊本地震での医療活動

平成28年4月に熊本で2度の大きな地震が発生し、全国からNHOの医療班やDMATが支援に駆けつけ、薬剤師も医療班の一員として支援活動を行いました。



能登半島地震での医療活動

国立病院機構では、地震発生直後よりDMAT、DPATによる災害急性期の医療活動を展開するとともに、切れ目のない医療活動のために、令和6年1月5日から医療班を継続的に派遣し、被災地における診療を行いました。

全国140の病院ネットワーク

01



02



03



04



国立病院機構とは 病院薬剤師について 処遇・福利厚生 選考について

全国最大級の病院グループ

国立病院機構は、全国に 140 病院のネットワークをもつ日本最大級の病院グループであり、全国を 6 つのグループに区分して運営しています。九州グループには九州 8 県に 28 病院があり、それぞれの地域で医療を提供しています。



国立病院機構は、東京の本部と全国6地域にグループ担当理事部門を設置し、各病院に業務支援を行っています。

九州グループ²8病院

一般

17病院

障害

8病院

精神

3病院



小倉医療
センター



九州がん
センター



九州医療
センター



福岡病院



大牟田病院



福岡東医療
センター



佐賀病院



肥前精神医療
センター



東佐賀病院



嬉野医療
センター



長崎病院



長崎医療
センター



長崎川棚医療
センター



鹿児島医療
センター



指宿医療
センター



南九州病院

福岡県

佐賀県

長崎県

鹿児島県

大分県

熊本県

宮崎県

沖縄県



大分医療
センター



別府医療
センター



西別府病院



熊本医療
センター



熊本南病院



菊池病院



熊本再春医療
センター



宮崎東病院



都城医療
センター



宮崎病院



沖縄病院



琉球病院

01



02



03



04



国立病院機構とは

病院薬剤師について

処遇・福利厚生

選考について

人事交流について

(令和8年7月1日時点)

01



02



03



04



国立ハンセン病療養所

14名

入職後は、国立ハンセン病療養所を含めた33施設で人事異動がある



菊池恵楓園



星塚敬愛園



奄美和光園



沖縄愛楽園



宮古南静園

国立病院機構本部

1名



中央治験審査委員会の事務局業務など

日本医療研究開発機構



引用元：日本医療研究開発機構
<https://www.amed.go.jp>

医薬品医療機器総合機構

1名



引用元：医薬品医療機器総合機構
<http://www.pmda.go.jp>

厚生労働省

2名



薬事分野

医薬品等を安心して使用してもらうためのルール作り

保険医療分野

「診療報酬」や「薬価」を定める業務

研究開発分野

医薬品等の研究開発環境の整備

国立がん研究センター東病院

1名



がん専門の医療機関に勤務し、がん専門薬剤師の取得を目指す

引用元：国立がん研究センター東病院
<https://www.ncc.go.jp/ncc/about/index.html>

国立病院機構以外の病院や行政機関などで働くことで薬剤師としての知見がさらに広がる！

薬剤師の役割

国立病院機構の薬剤師は、

医師・看護師・その他の医療スタッフとともに

チーム医療の一員として、高度な医療を着実に支えるために、

調剤・製剤、服薬指導、薬歴管理、注射薬調剤、医薬品情報管理、

リスクマネジメント、医薬品供給・品質管理、薬物モニタリング、

臨床研究、治験等に専門的に取り組んでいます

CONTENTS

01



国立病院機構とは

02



病院薬剤師について

03



処遇・福利厚生

04



選考について

病院薬剤師の業務

01



02



03



04



国立病院機構とは 病院薬剤師について 処遇・福利厚生 選考について

調剤業務



製剤業務



注射業務



病棟業務



外来業務

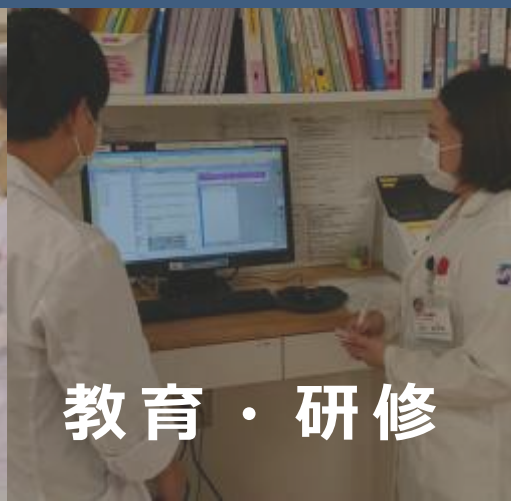


総合的にスキルアップができ、薬の専門家として着実に成長できます

チーム医療



教育・研修



抗がん剤調製



周術期業務



治験業務



キャリアパスについて

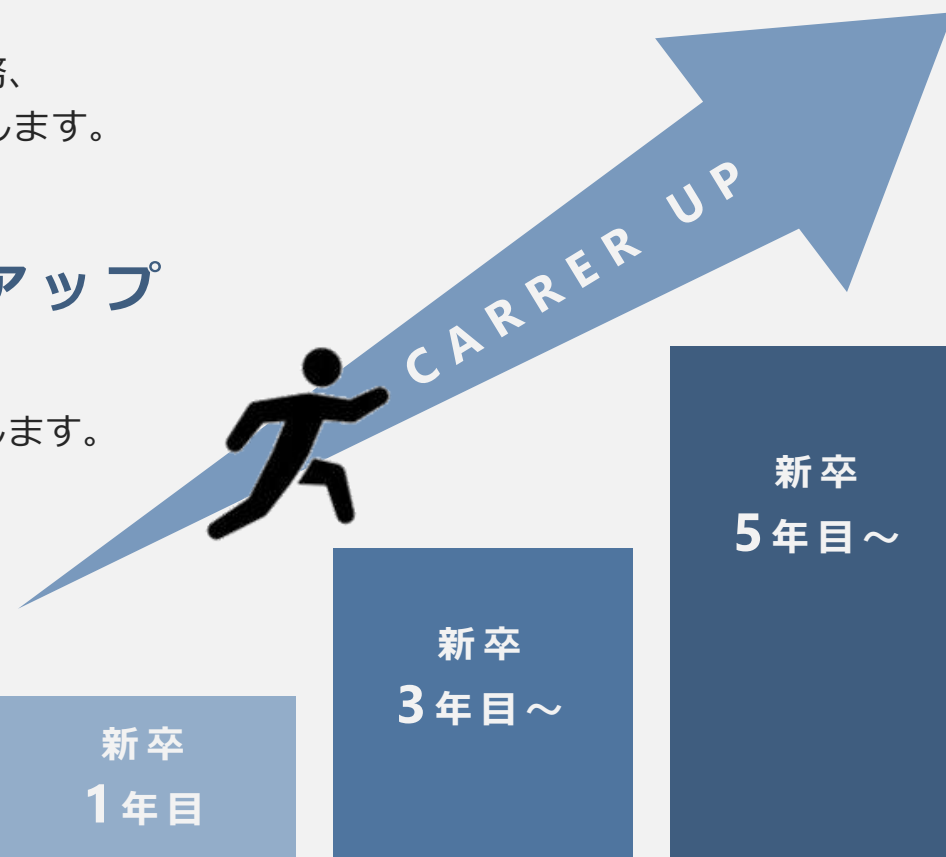
- ・ 充実した研修体制
- ・ 充実した学術研究の支援体制

□ 薬剤師業務の習得

- ・ 調剤業務、製剤業務、抗がん剤調製業務、DI業務など**薬剤部内業務の習得**を目指します。

□ 病棟業務のステップアップ

- ・ 病棟薬剤業務や薬剤管理指導を経験し、**ジェネラリスト**としての薬剤師を目指します。
- ・ 次のステップとして、興味のある専門領域を学び、ICT、NST、緩和治療など**スペシャリスト**を目指しチーム医療に参画します。



主任薬剤師へ

□ 学術研究

□ 認定・専門薬剤師取得

- ・ 学術研究を計画し、**学会発表や論文投稿**にチャレンジします。
- ・ がん、感染、精神など**専門薬剤師の資格取得**を目指します。

取得できる主な資格（令和8年）

01



02



03



04



※機構とは 病院薬剤師について 処遇・福利厚生 選考について

認定組織

資格名称

習得者数

日本病院薬剤師会

感染制御専門薬剤師

3名

感染制御認定薬剤師

5名

妊婦・授乳婦薬物療法認定薬剤師

1名

精神科薬物療法認定薬剤師

4名

HIV感染専門薬剤師

1名

HIV感染症薬物療法認定薬剤師

3名

がん指導薬剤師

2名

がん専門薬剤師

9名

日本医療薬学会

医療薬学指導薬剤師

12名

医療薬学専門薬剤師

25名

日本栄養治療学会

NST専門療法士

64名

日本臨床薬理学会

認定CRC

18名

専門・認定薬剤師を育成する環境

- 国立病院機構九州グループには、各領域の研修施設があります。
※左の表において、赤字で示されている資格は**研修施設での研修が必須**
- 日本医療薬学会が認定するがん専門薬剤師には、3,000円の手当が支給されます。

論文実績について



令和5年度

8 報

九州がんセンター
九州医療センター（2報）
東佐賀病院
別府医療センター（3報）
都城医療センター

令和6年度

3 報

九州医療センター
福岡東医療センター
長崎医療センター

令和7年度

5 報

九州がんセンター
九州医療センター（2報）
肥前精神医療センター
別府医療センター

令和8年度

5 報

九州がんセンター
九州医療センター（2報）
別府医療センター
沖縄愛楽園

九州地区国立病院薬剤師会多施設共同研究への助成

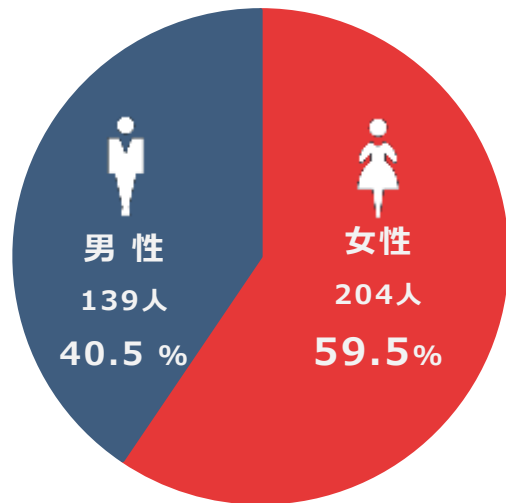
- 九州地区国立病院薬剤師会では、薬剤師の研究活動を支援するため、研究への助成を行っています。
- 国立ハンセン病療養所を含めた33施設を対象に、多施設のデータ収集、研究の支援を行っています。
- 平成25年度以降、9課題に対し研究への助成・支援を行っています（R8.8現在）。

薬剤師データ (R8.4.1現在)



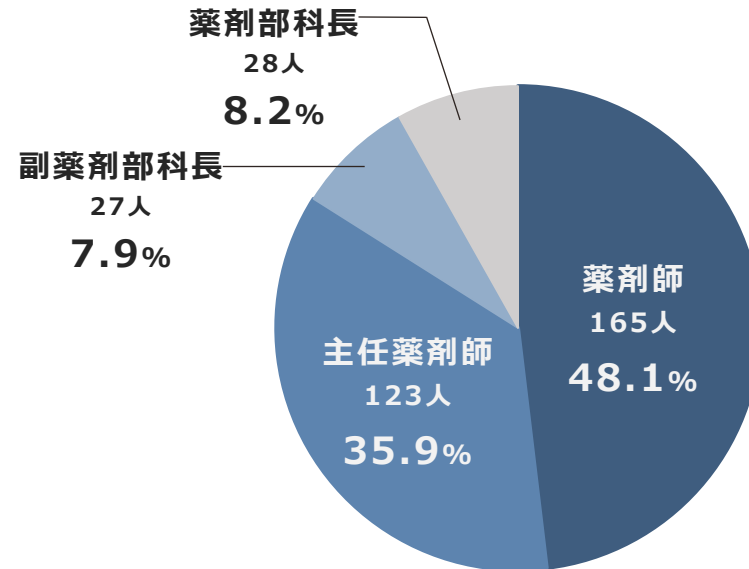
定数 369人 (配置343人)

男女比



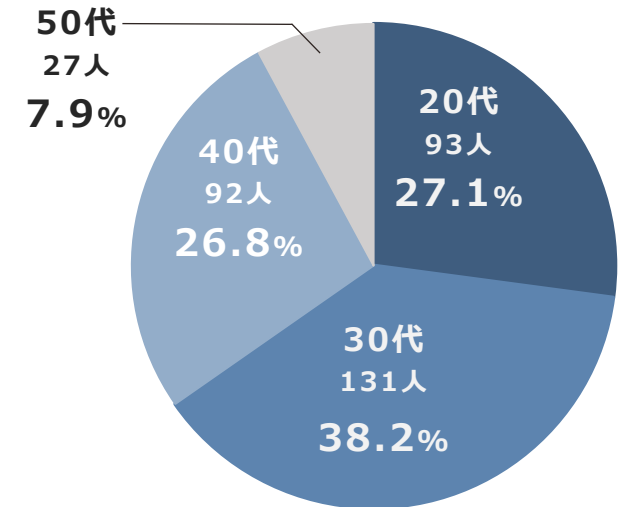
女性割合が増加傾向

役職等の割合



約半数が役職者

年齢別割合



平均年齢 36.4歳 (20~30代 65.3%)

NHOで働くメリット

国立病院機構は、
職員の皆さんに気持ちよく働いていただけるよう、
ワーク・ライフ・バランスを重視しており、
出産・子育て中でも働きやすい環境です
育児支援にも力を入れており、
職員が働きやすい環境づくりを目指しています

CONTENTS

01



国立病院機構とは

02



病院薬剤師について

03



処遇・福利厚生

04



選考について

薬剤師の給与（モデルケース）

 大学6卒（新卒者）	▶	基本給 235,500 円
	+	
 賃貸マンション居住 ※家賃 60,000円	▶	住居手当 27,000 円
	+	
 自動車通勤 ※通勤距離 6km	▶	通勤手当 4,200 円
	+	
 月10時間の超過勤務	▶	超過勤務手当 18,830 円

計 285,530 円

※別途、賞与として基本給の年間4.2月分程度を支給

※住居手当：アパート、借家は27,000円/月を上限に支給

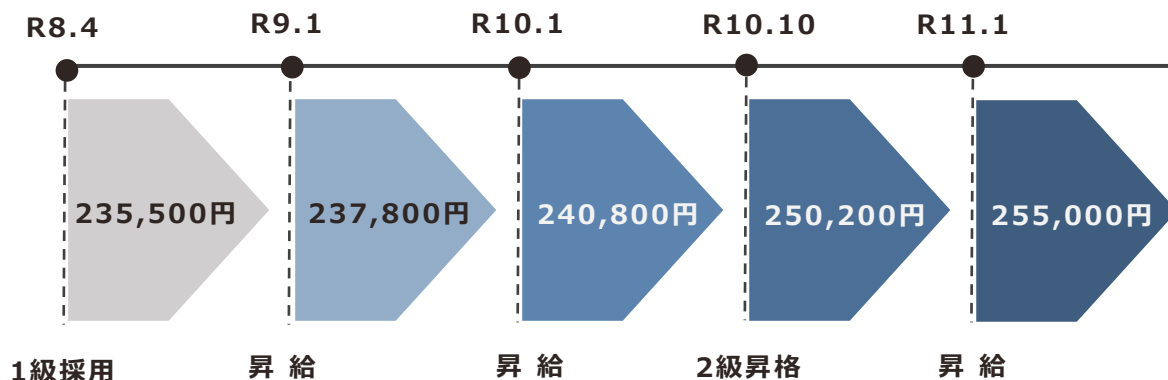
※通勤手当：交通機関利用の場合は150,000円/月を上限に支給

※65歳定年に向けて定年年齢引上げ（役職継続と給与水準維持）



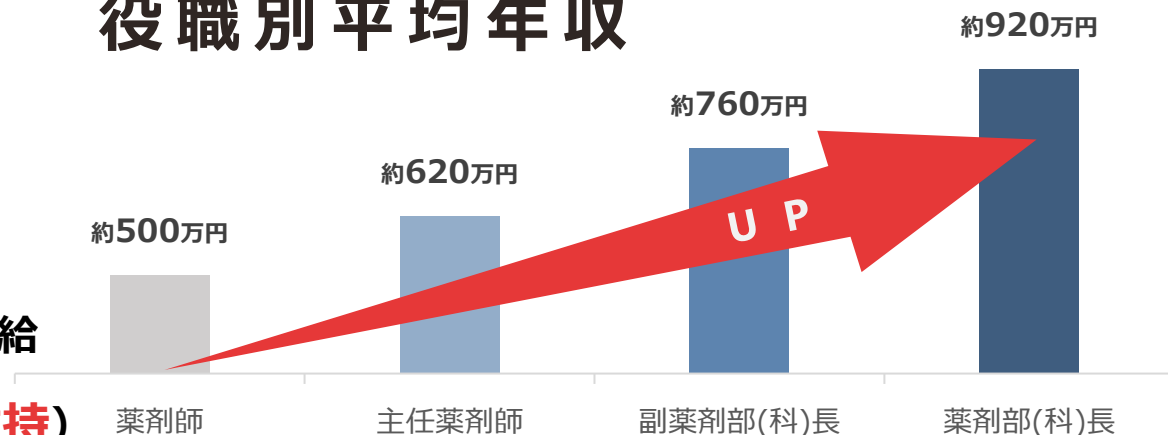
国立病院機構とは 病院薬剤師について 処遇・福利厚生 選考について

昇給例



※毎年1月に昇給 新卒の場合、3年目の10月に2級昇格
業績評価制度に基づく評価結果により、昇給号俸の変動あり

役職別平均年収



※保険料等控除前 17

ワーク・ライフ・バランス

給与・福利厚生等については、国家公務員に準拠した制度を定めています

休暇制度

- ・有給休暇：**毎年20日付与（繰越上限20日）**
- ・リフレッシュ休暇：3日付与
- ・病気休暇、結婚休暇、産前・産後休暇など
※年末年始（12/29～1/3）は休み

原則、4週8休（**週休2日制**）

原則、土日祝日は休み

※病院によって、夜勤・土日祝日の勤務があるが、代休を取得するため週休2日制

健康保険

- ・**厚生労働省第二共済保険**に加入

赴任旅費

- ・採用・異動に伴う**移転費等を一部負担**
転居費は路程に応じた支給額を実費支給

01



02



03

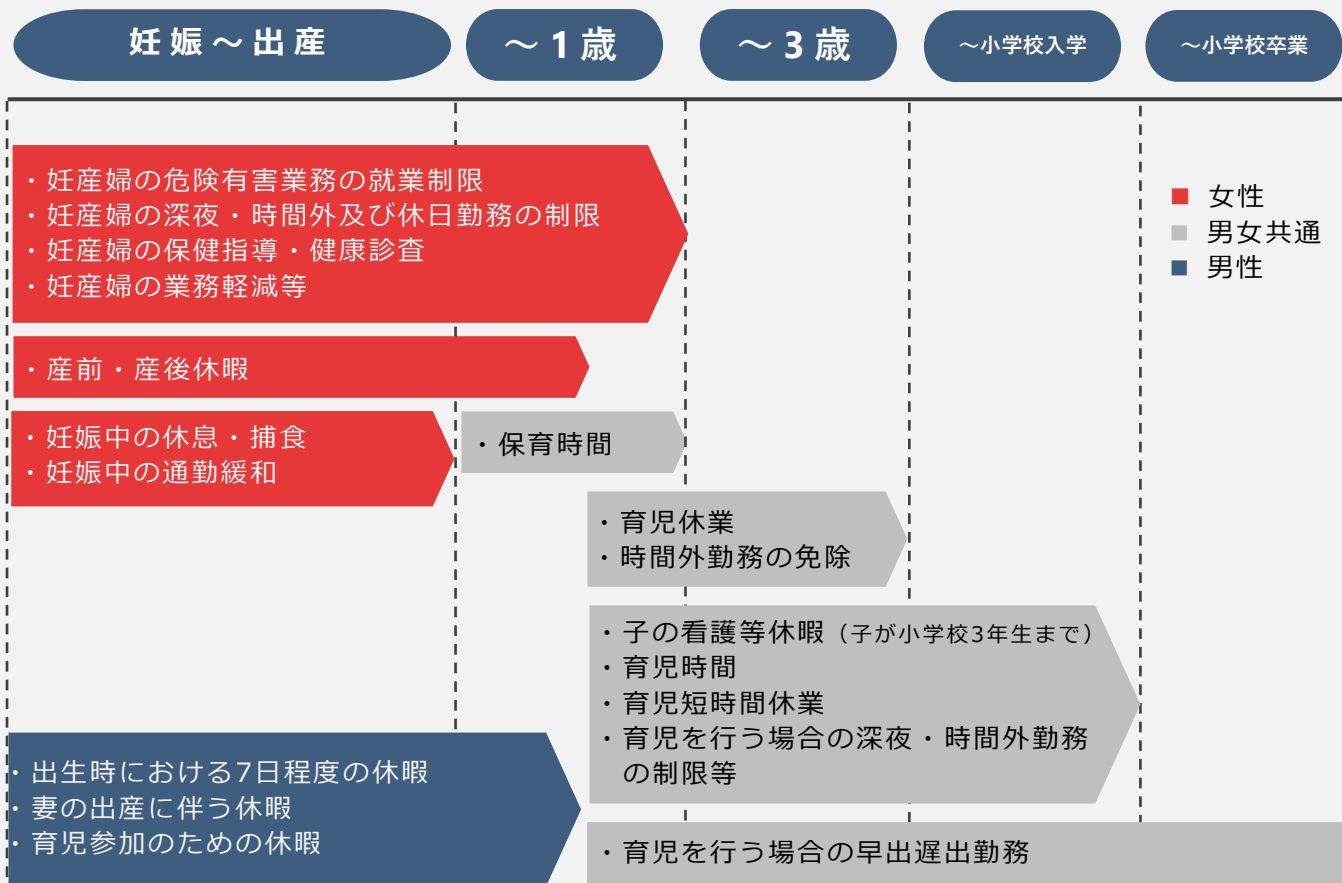


04

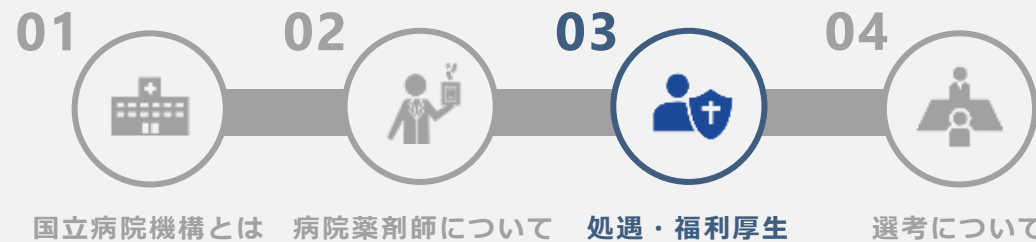


国立病院機構とは 病院薬剤師について 処遇・福利厚生 選考について

出産・子育てに関する制度の利用可能期間



人事異動に関するQ & A



NHOは国内最大のネットワークを有する病院グループで、様々な病院で勤務することで「**薬剤師としての大きな成長**」と「**広い人脈**」を得ることができます。

異動は**3～5年を目安**に行われ、毎年「**職員カード**」を提出して自らの希望施設を申し出ます。

Q1 異動のメリットはありましたか？

- ・異動により心機一転、職場を辞めることなく新たな環境で仕事を行える。
- ・人が入れ替わることで、薬剤師としての仕事の質や知識の向上が期待できる。
- ・急性期や慢性期など病院によって様々な業務・診療科を体験できる。
- ・異動により新しい出会いがあり、薬剤師以外のスタッフとの人脈も広がる。

Q2 異動して生活に変化はありましたか？

- ・異動に伴い単身赴任になった。
- ・異動に伴い家族で引っ越したため、家族の生活環境が変わった。
- ・結婚を機に希望施設へ異動となり、ライフステージに合わせた異動を考慮してもらえた。

Q3 異動して困ったことはありましたか？

- ・病院によってシステムなどが異なるため、慣れるのに時間がかかった。
- ・子どもの保育園への送迎などでフルタイム勤務が困難になった。

Q4 困った際どのように解決されましたか？

- ・上司・先輩・同僚などに相談し、アドバイスを受けた。
- ・NHOのネットワークを活用し、他施設の状況などを参考にした。
- ・「育児時間」や「育児短時間休業」などの制度を活用して仕事と育児を両立することができた。

求められる薬剤師像

日進月歩する医療の中で、薬剤師がチームの一員として、
患者さん中心の医療に参画することが求められ、
期待されています

その期待に応えるため、業務の拡大・展開に積極的に対応できるように
準備を進めているところであり、
国立病院機構においては、熱意のある優秀な人材を求めています

CONTENTS

01



国立病院機構とは

02



病院薬剤師について

03



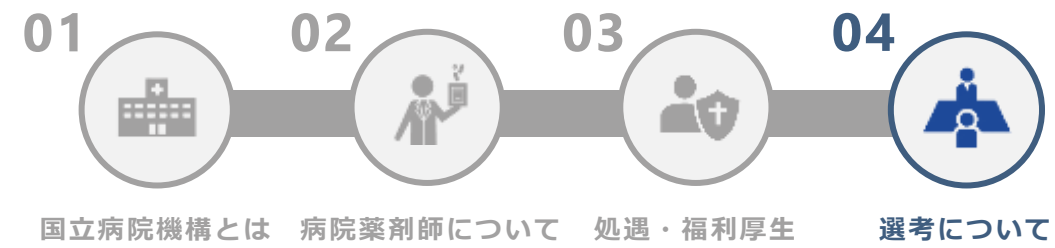
処遇・福利厚生

04

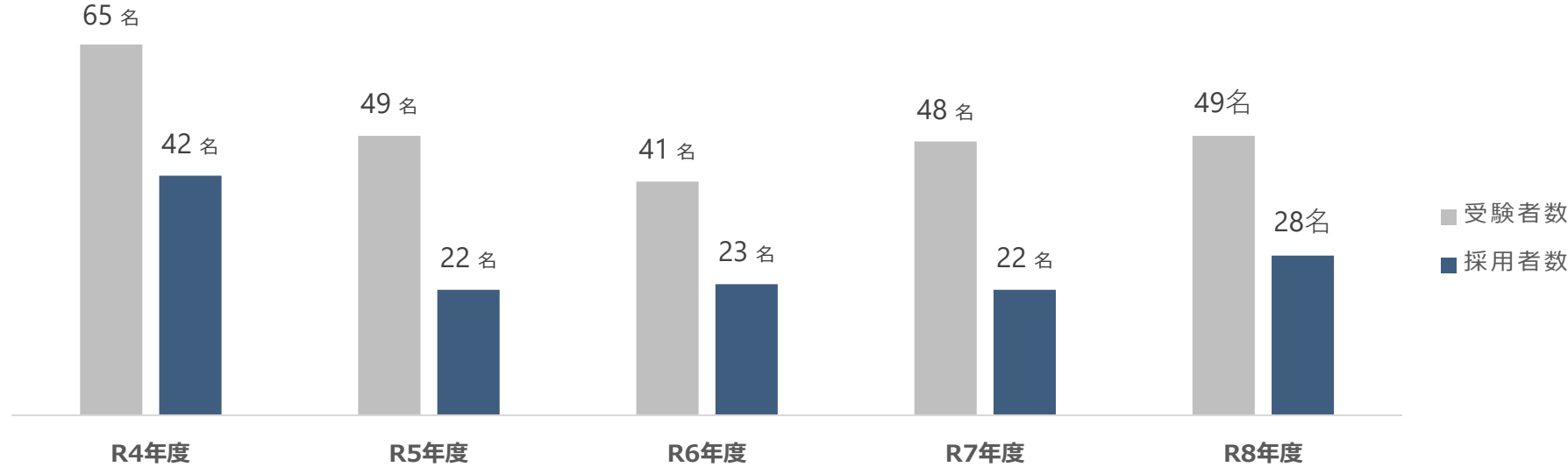


選考について

採用データ



採用者数の推移



過去5年間の採用実績校（50音順）

いわき明星大学、大阪薬科大学、岡山大学、北里大学、岐阜薬科大学、九州大学、九州医療科学大学、京都薬科大学、近畿大学、熊本大学、神戸学院大学、国際医療福祉大学、静岡県立大学、就実大学、昭和薬科大学、摂南大学、崇城大学、第一薬科大学、帝京大学、東京薬科大学、同志社女子大学、徳島文理大学、長崎大学、長崎国際大学、新潟薬科大学、日本大学、広島大学、広島国際大学、福岡大学、福山大学、北陸大学、松山大学、明治薬科大学、武庫川女子大学、安田女子大学、横浜薬科大学、山口東京理科大学、立命館大学

2026年度病院見学実施スケジュール

都道府県	病院名	5月					6月					7月					8月					9月					11月					12月					2月					3月					開催回数
		8 (金)	12 (火)	13 (水)	14 (木)	15 (金)	21 (木)	2 (火)	9 (木)	4 (火)	5 (水)	6 (木)	7 (金)	12 (水)	13 (木)	14 (金)	10 (木)	15 (火)	5 (木)	6 (金)	10 (火)	11 (水)	12 (木)	13 (金)	19 (木)	10 (木)	17 (木)	4 (木)	9 (火)	10 (水)	12 (金)	17 (水)	18 (木)	19 (金)	11 (木)												
福岡県	小倉医療センター				○						○												○							○															4		
	九州がんセンター				○							○											○											○											4		
	九州医療センター											○											○								○														3		
	福岡病院				○																				○								○												3		
	大牟田病院		○							○											○																								3		
	福岡東医療センター		○					○										○			○																								4		
佐賀県	佐賀病院					○						○												○																						3	
	肥前精神医療センター										○								○										○																3		
	東佐賀病院					○						○								○															○										4		
	嬉野医療センター			○										○								○											○													4	
長崎県	長崎病院				○						○												○																							3	
	長崎医療センター				○									○									○								○														4		
	長崎川棚医療センター				○							○											○							○															4		
熊本県	熊本医療センター																									○	○	○																		3	
	熊本南病院		○							○											○																								3		
	菊池病院					○																	○											○											3		
	熊本再春医療センター				○					○																											○								3		
大分県	大分医療センター					○						○												○																						3	
	別府医療センター	○																		○												○													3		
	西別府病院	○																		○												○													3		
宮崎県	宮崎東病院							○								○										○																				3	
	都城医療センター											○											○									○													3		
	宮崎病院			○							○											○																							3		
鹿児島県	鹿児島医療センター					○									○																	○														3	
	指宿医療センター						○				○								○																										3		
	南九州病院			○										○																				○											3		
沖縄県	沖縄病院				○						○									○																										3	
	琉球病院	○										○								○																									3		

※病院見学会をご希望の方につきましては、下記のURL又はQRコードからお申し込み下さい。

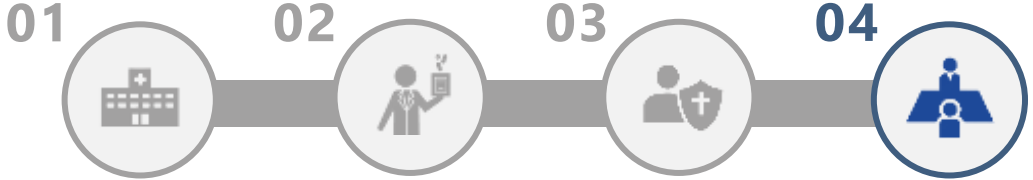
※上記開催日以外でも見学会実施相談可能です。見学希望施設へと直接お問い合わせください。

URL: <https://forms.gle/w4iZLK1rNCvi8iuE8>

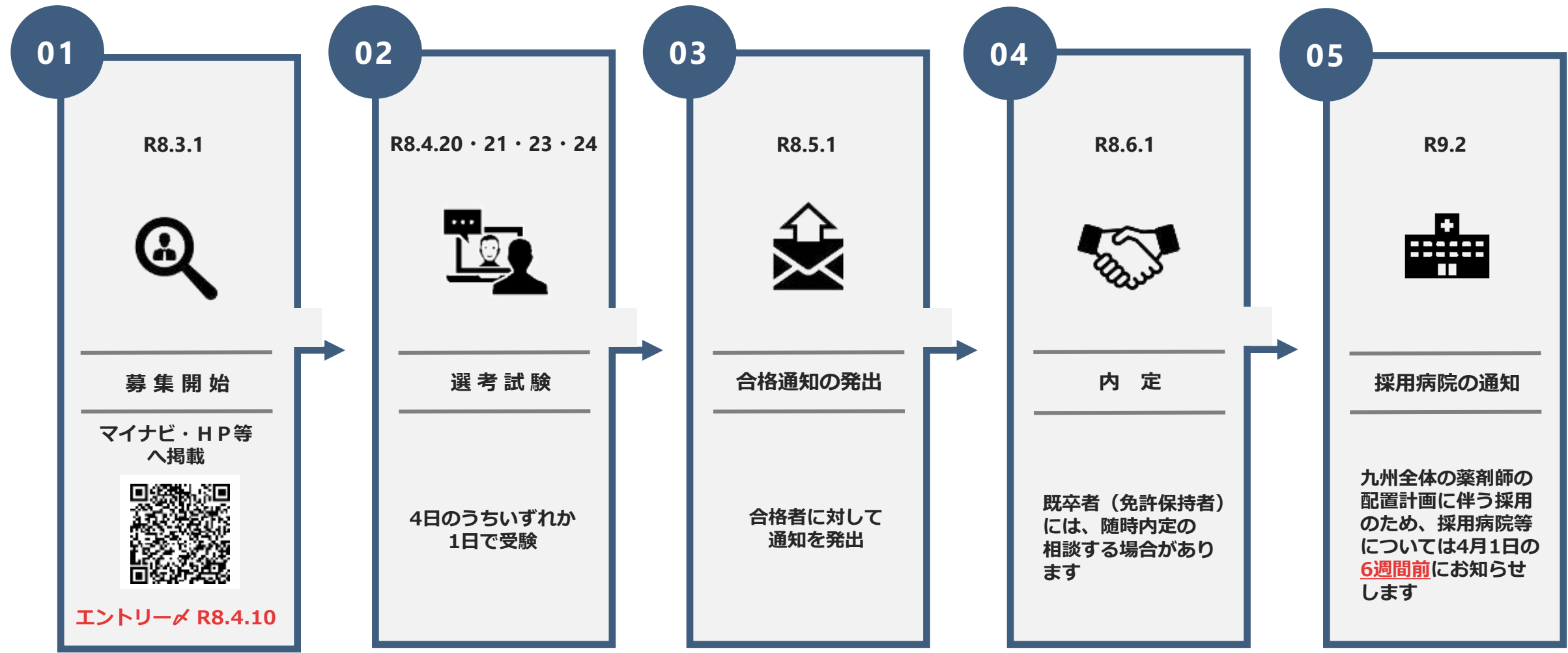
QRコード:



採用までの流れ（R9.4.1採用）



国立病院機構とは 病院薬剤師について 処遇・福利厚生 選考について



参考資料（先輩薬剤師のキャリアアップ）

※写真はイメージです



2008 2015 2018 2019 2023 2024 2026

別府医療
センター

東佐賀病院

佐賀病院



結婚を機に佐賀県に転勤。主任に昇任。NST担当。

第一子妊娠。当番や抗がん剤調製免除。出産。産休・育休取得。

第一子が一歳二か月の時、時短勤務で職場復帰。子供が風邪をひき、休むことが多かったため、病棟業務担当から外してもらい、調剤室業務のみへ。当番も免除してもらった。NSTチーム担当は継続。サブもつけてもらい、急な休みにも対応していただける体制を整えてもらった。

第二子出産。産休・育休取得

第二子が十一ヶ月の時、時短勤務で職場復帰。NST担当。

現在当番免除は継続中ですが、抗がん剤調製含む調剤室業務、病棟業務、NST担当等充実した薬剤師業務を行いながら子育ての両立に頑張っています。

01

妊娠中に利用した制度

- ・妊産婦の危険有害業務の就業制限
→抗がん剤調製、当番の免除
- ・妊産婦保険指導・健康診査
→妊婦検診時に取得
- ・妊娠中の休息、補食
→つわりの症状があるとき
- ・産前休暇
→出産予定日の6週間前から取得

02

産後に利用した制度

- ・産後休暇 →出産日の翌日から8週間取得
- ・育児休業 →育児休業給付金の給付あり
(原則1歳まで)

03

復帰後に利用した制度

- ・育児時間 →9:30～16:15の週5日勤務(28時間45分)
- ・特別休暇 →子供が発熱したときに取得

最後に

- ・女性は特に結婚、妊娠、出産、育児などその時々でライフスタイルの変化が大きいと思いますが、その都度、職員カードで現状を記載し、自分に合った働き方ができるのも国立病院機構の魅力だと思います。
- ・出生サポート休暇（不妊治療に関わる通院等を行うための休暇）も新設され、妊娠出産に対するサポート体制が整っています。
- ・主人もNHO職員（他職種）です。1歳で一番手がかかる時は主人にも育児時間を取得してもらい乗り切りました。子供が小さいこともあり、異動も考慮してもらえるので助かります。

福岡病院（1～6年目）

1年目～ 薬剤師業務全般

2年目～ 呼吸器外科病棟で病棟常駐業務

肺がん化学療法の患者指導や副作用モニタリングが主な業務
呼吸器外科の医師が主催する緩和ケア勉強会に病棟看護師とともに参加
（抗がん剤の治療や副作用、緩和ケアについて、日々勉強！）

【研究活動】

抗がん剤副作用の発現率について興味があり、ちょっと調べてみることに...
その後、**初めての学会発表**（すごく緊張した覚えが・・・💦）



毎年学会発表を行うことを目標に取り組む！！

4年目～ 呼吸器内科病棟で病棟常駐業務

喘息や慢性閉塞性肺疾患（COPD）、間質性肺炎等の患者対応にシフト

【研究活動】

「せっかく取り組んだ研究が、学会発表で終わってはもったいない！」と思い、
初めての論文投稿（NHO別施設の薬剤師に指導を仰ぎながら）
→無事アクセプト★

多施設共同前向き観察研究に初めて参加
後に、共同著者として論文化

熊本医療センター（7～10年目）

7年目～ 治験主任として赴任

★ 医療薬学専門薬剤師 認定

治験コーディネーター（CRC）や治験事務局が主な業務
治験業務についての知識がほとんどなかったため、毎日先輩に指導していただきながら、企業主導の研究について学びを深める

【研究活動】

ふとした疑問（クリニカルクエスション）から研究テーマをみつけ、研究継続
初めての多施設共同研究を計画・実施へ

九州医療センター（11～16年目）

11年目～ 薬務主任として赴任

★ 医療薬学指導薬剤師 認定

初めての当直・・・若いころと比べて体力の低下を自覚し始める💦
主な業務場所：肝胆膵外科病棟→調剤室→整形外科病棟→腫瘍内科病棟

【研究活動】

初めての英語論文投稿（多施設共同研は英語で出そうと決めていた！）
まとめるのに2～3か月かかった気がします→無事アクセプト★



毎年論文投稿を行うことを目標に取り組む！！

論文の業績も増えてきたため、恩師の勧めもあり、**学位（博士）**を取得
後輩の育成に必要な**医療薬学指導薬剤師**を取得

【教育活動】

認定・専門資格や臨床研究に関する知識向上を目的として、薬剤部内での勉強会を開催
学会発表数や論文投稿数も徐々に増加し始める

九州がんセンター（17年目～）

17年目～ 薬務主任として赴任

所属施設のみならず、NHO九州グループ全体の臨床研究力を高めるために、勉強会を実施中

振り返って感じること

働き始めて数年は、『患者さんのため』を基本に、必死に勉強し、病棟活動に取り組んでいました。そこで医師や看護師、検査技師等の多職種と意見を交わすことで、医療者としての基本を構築できたように思います。
また臨床研究では、わからないことを知りたいという、率直な知的好奇心と、周りの先輩方の支えにより、研究業績を積み上げてきました。
今後は指導薬剤師として、これから成長していく薬剤師の先生方のお力になっていきたいと思っています。

03 がん専門薬剤師取得者 編

九州医療センター（1～4年目）

- 薬剤部セントラル全般（調剤・注射・製剤・無菌調製など）・病棟業務（主に消化器センター：肝・胆・膵 など）・外来治療センターでのがん患者への指導など幅広く業務を経験
- 日本臨床腫瘍薬学会、日本医療薬学会の学術大会で学会発表を経験
- 化学療法委員会事務局業務を経験
- 緩和ケアチーム担当薬剤師として多職種とのチーム医療を経験
- 多施設共同研究の共同研究者を経験→論文（共著者）
- 国立病院機構医療班として熊本地震への災害派遣を経験

- ★ 厚生労働省 日本DMAT登録
- ★ 日本臨床腫瘍薬学会 外来がん治療認定薬剤師取得

鹿児島医療センター（5～8年目）

- 腫瘍内科・耳鼻咽喉科・消化器内科病棟を担当
- 化学療法委員会事務局を担当
- 緩和ケアチームを担当
- 免疫チェックポイント阻害薬によるirAE対策強化を目的とした多施設連携:鹿児島がん免疫療法サポートネットワーク事務局業務を担当
- 県内のがん専門薬剤師研修施設でがん専門薬剤師研修を受講
- NST専門療法士40時間研修受講
- 薬剤師外来担当：がん患者指導管理料八、連携充実加算などの新規算定業務導入を経験
- 国立病院機構医療班として熊本豪雨災害（球磨）への災害派遣を経験
- 多施設共同研究の共同研究者を経験
- 同僚と共同研究→論文（共著者）
- 日本医療薬学会・日本臨床腫瘍薬学会・国立病院総合医学会・鹿児島県病院薬剤師会学術大会等で学会発表を経験

- ★ 日本病院薬剤師会 病院認定薬剤師取得
- 鹿児島県病院薬剤師会学術大会 優秀発表賞受賞

- 鹿児島県病院薬剤師会 がん薬物療法・緩和ケア対策委員会委員

別府医療センター（9～10年目）

- 薬務主任として赴任
- 血液内科・呼吸器内科病棟を担当
- 化学療法委員会事務局を担当
- NSTを担当
- 薬剤師外来担当：連携充実加算、バイオ後続品導入初期加算など新規算定業務を開始
- 日本臨床腫瘍薬学会 がん診療連携研修施設として保険薬局研修生を受け入れ
- 日本医療薬学会学術大会でシンポジストを経験
- 多施設共同研究の共同研究者を経験→論文（共著者）
- 日本臨床腫瘍薬学会 認定制度委員会 技能評価小委員会委員

- ★ 日本医療薬学会 がん専門薬剤師取得
- 優秀症例賞受賞

都城医療センター（11～13年目）

- 製剤主任として赴任
- 薬剤師外来担当：連携充実加算新規算定業務を開始、地域薬剤師会との薬薬連携を推進
- 化学療法委員会事務局、セーフティ部会、身体拘束最小化委員会担当
- 機能評価担当
- 電子カルテベンダー変更担当
- 国立病院機構医療班として能登半島地震への災害派遣を経験
- 日本医療薬学会学術大会等で学会発表を経験
- 多施設共同研究の共同研究者を経験→論文（共著者）
- 日本臨床腫瘍薬学会 認定制度委員会 技能評価小委員会委員

- ★ 薬学教育協議会 認定実務実習指導薬剤師取得
- ★ 日本臨床腫瘍薬学会 外来がん治療専門薬剤師取得

振り返って感じること

1施設目で幅広い業務を経験することができ、優秀な先輩方の業務のやり方・進め方などを目で見て学ぶことができたことは私にとって大きな糧になりました。色々な方に、ご指導・ご助言をいただき、自分が興味がある分野（がん治療・災害医療など）の資格・認定を目指し、取得したことにより、異動後もスキルや経験を活かすことができていると感じています。

04 人事交流経験者（厚生労働省ほか）編

九州医療センター（1～3年目）

- 1年目～ 薬剤業務全般を経験
先輩薬剤師の学会発表・論文投稿の補助
- 2年目～ 抗がん剤調製業務・製剤業務に特化
学会発表
- 3年目～ 病棟薬剤業務に特化

指宿医療センター（4・5年目）

- 4年目～ 製剤主任として赴任
小規模施設であり、薬剤業務全般に従事
倫理審査委員会事務局業務

行政機関 出向（6～11年目）

- 6年目～ 厚生労働省医薬生活衛生局医薬品審査管理課化学物質安全対策室
化学物質安全対策部会・化学物質調査会事務局業務
（カウンターパート（経済産業省、環境省）との調整業務）
（部会資料作成、会議室確保、開催案内、官報告示・通知資料作成）
法改正業務
- 9年目～ 厚生労働省医薬生活衛生局医薬品審査管理課
薬事・食品衛生審議会医薬品第一部会・第二部会事務局業務
（部会資料作成、会議室確保、開催案内、官報告示・通知資料作成）
医療上の必要性の高い未承認薬・適応外薬検討会議事務局業務
（部会資料作成、会議室確保、開催案内、官報告示・通知資料作成）
法改正業務
- 11年目～ 関東信越厚生局医療課
保険医療機関等（主に保険薬局）の指導・監査業務
特定機能病院及び臨床研究中核病院に対する立入検査業務

福岡東医療センター（12年目～）

- 12年目～ 薬務主任として赴任
医薬品情報担当業務
業務改善：薬剤師から調剤助手へのタスクシフト
（マニュアル整備、業務効率化）
病棟薬剤業務導入
医薬品マスタ管理

★ NST専門療法士取得

九州がんセンター（15年目～）

- 15年目～ 副薬剤部長として赴任
薬事委員会事務局・受託研究審査委員会事務局業務
医療安全関連業務
働き方改革・増員要求
診療報酬関連への対応

振り返って感じること

1年目から幅広い薬剤師業務を経験でき、2・3年目以降は興味のある業務に従事できる環境に恵まれました。また、先輩方の学会発表・論文投稿の補助を通じて、日々の業務に問題意識を持つこと、そして、実臨床のデータをまとめて、臨床へ還元していくことの重要性を学びました。

さらに、5年間の行政機関への出向では、薬事制度の知識に加え、国会・議員対応や関係団体等との調整業務を経験しました。これにより、複雑な業務を確実かつ効率的に進めていく力を身に着けることができた実感しています。

この経験は、現在、法律・通知等に基づいた薬剤業務の遂行、他職種・患者に伝わりやすい資料作成、医師・看護師等との円滑な業務調整を大きく活かしています。

何より、複数施設への異動や行政機関出向を通じて、国立病院機構ならではの経験を積み、人の繋がりを構築できたことが、今の私の一番の財産になっています。